

総裁 秋篠宮皇嗣殿下おことば

本日、「令和元年度 恩賜財団 済生会総会」が、来賓ならびに全国の済生会支部および施設から多数の参加を得て、ここ新潟市において開催されますことを誠に喜ばしく思います。

本会は明治44年、明治天皇の済生勅語により創立され、そこに記されている「施薬救療以て済生の道を弘めむとす」により済生会と命名されました。爾来（じらい）、本会を支えてこられた先人、そして皆様方のたゆまぬ努力と英知のおかげにより、今では日本最大の医療・福祉団体となるに至りました。

ここ新潟県内には、新潟病院、三条病院の2つの病院が公的医療機関として地域に必要な医療の確保・向上に努めているとともに、2つの特別養護老人ホームと1つの介護老人保健施設を運営するなど、地域包括ケアシステムの構築を目指し、各施設の職員が昼夜を問わず医療と福祉の増進に取り組んでおられます。

昨年も大きな自然災害が多い年でありました。6月に発生した山形県沖地震の際は、新潟県からの要請により、新潟病院は職員5名を被災地に派遣し、救助活動に当たりました。また、9月には台風15号、10月には台風19号、そして台風21号の影響による豪雨など過去に例を見ないほどの台風により、各地に甚大な被害をもたらしました。済生会の一部の施設においても、停電や断水、施設の一部破損等があったと伺っております。ここに、お見舞い申し上げます。

近年、少子高齢化が急速に進行する我が国では、地域における医療機関の相互連携や、医療と福祉との連携の強化がより一層求められております。このような中、本会が今日まで培ってきた信頼と実績を生かし、全ての役員および職員が済生の理念の下、本会の使命を達成するために邁進し、地域住民の生活を支える柱の一つとして、より一層大きな役割を果たしていくことを希望いたします。

終わりに、本日表彰を受けられる方々をはじめ、これまで済生会の活動を支えてこられた多くの関係者の多年のご尽力に対し、心より敬意と感謝の意を表するとともに、今後とも皆様が健康に留意されながら活躍されることを祈念し、総会に寄せる言葉といたします。